

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第8回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和8年2月4日(水) 13:30 ~ 15:30				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員 (部会長:志村 陽子) <敬称略>				
	蛭子 明子	山内 京子	竹内 千代江	石塚 由江	大江 千枝
	栗田 修平	川端 英吏子	生駒 友一	西條 由美子	近藤 博子
	事務局:山下 潤二、秋山 仁志、檜山 咲紀、上玉利 芳綱				

1 連絡・確認事項

(1) 司会・書記の確認 (司会:生駒委員、書記:事務局)

(2) 出欠者・配布資料の確認

欠席者 名川委員、北畠委員、窪田委員、福田委員

2 前回専門部会の振返り

第7回専門部会の議事録・ご意見カードの確認 【資料1】【資料2】

3 議題

中間報告書(案)の確認について【資料3】

・事務局より、中間報告書(案)について説明した。スライド⑤は本日举行福祉管理課との勉強会の内容を掲載するので、それ以外について作成した。

スライド①→「防災」については今年度行ったこと、「あんしん」については検討していきたい内容を記載した。

スライド②→スペシャルデーで展示したものが分かる写真を掲載した。バンダナ、まちあるきマップ、合理的配慮についての写真を掲載した。

スライド③→「災害時の心配事」を掲示した写真を掲載した。当日来所した方に書いてもらった付箋も写真の中に含まれている。

スライド④→矢口特別支援学校の福祉避難所開設訓練の写真を3枚掲載した。1枚目は受付近くにあったのぼり、避難者伝言板、筆談板の写真。2枚目は栗田委員が受付をしている写真。3枚目は障がい別に分かれている部屋の写真。糺谷地区の総合防災訓練にも言及したが、事務局が参加しておらず、写真がないため文章のみになっている。

スライド⑥→次年度の取り組みについて、前回の専門部会時に委員の皆さんから出てきた意見を掲載した。

・北畠委員に協力してもらい報告書(案)を作成したが、皆さんの意見を反映させたい。スペシャルデーのスライド2枚は、活動紹介のページと意見のページに分けた。心配事のアンケートへの回答は別途資料を作成する予定。今日の資料は白黒だが、本会当日のスライドはカラーになる。

・矢口特別支援学校の福祉避難所開設訓練のスライドは、栗田委員から意見をいただいた。報告書(案)の中にある「今回反映されていた」ところはどこか?

→要配慮者スペースについて、以前、視覚障がい者は壁伝いに進めるといいと言ったところ、今回壁伝いに進めるようになっていたので意見が反映されたと感じた。また、筆談用のホワイトボードも用意され、手話通訳のビブスも付けていた。

→今伺った内容は、本会当日に発表させていただく。

- ・糀谷地区の総合防災訓練について、本会当日は山内委員に話をしてもらう予定。スライド⑥については、今までの議事録とご意見カードから抜粋して作成した。「！」をつけて気合いを表現した。
- ・矢口特別支援学校の福祉避難所開設訓練は写真で一目瞭然だが、糀谷地区の総合防災訓練は写真を載せられないのか？
- ・総合防災訓練の写真は資料4にあるが、事務局が参加していないので現時点で載せられる写真はない、掲載できる写真がないか確認する。
- ・スライド④について、本会当日も写真の説明をするのか？しないのであれば、写真の下に説明があるといい。
- ・皆さんの意見を反映させ、スライド①、②、③、④、⑥を修正する。また、スライド⑤は事務局で作成する。後日メールで完成版を送付するので確認してほしい。

4 講話・意見交換

(1) 大田区の災害時における要配慮者対策について【資料4】

ア 被害想定・避難の考え方

能登半島地震と同等規模の地震が起きた場合、資料のとおり被害が出ると想定している。要配慮者対策もこの被害を想定している。小中学校91か所の避難所も多くの方が避難されると想定される。また、火災も倒壊も広範囲に及ぶと想定しており、風向きによって火災被害の場所も変わってくる。液状化も区内のどこで起こってもおかしくない。津波については東京湾と多摩川の一部に被害が出るとなっている。

震災時の避難行動としては、まずは一時集合場所（屋外の広いスペース）に避難し、家を失った場合は避難所へ、家が大丈夫なら自宅へ移動する。

風水害時の避難行動としては、ハザードマップを見て、水平避難、垂直避難、屋内待機に分かれる。

イ 区の災害対策

(ア) 避難所の開設・運営

区内には学校避難所が91か所ある。学校防災活動拠点（大田区独自）を中心に避難所の運営を行う。学校防災活動拠点の中に情報班や地域活動班がある。区内91か所の避難所では不足する想定なので、補完避難所（区民センター等）を順次開設していく。福祉避難所にも2種類あり、「高齢・障害者」と「乳幼児」の2つがある。

開設のタイミングは発災後3日を目途に福祉避難所を開設予定。協定先の施設が多く、体制が整ってから開設するため時間がかかる。風水害時は事前に予定が分かるため学校避難所と福祉避難所を同時開設予定。

(イ) 医療救護対策

発災すると救護所を設置する。「緊急医療救護所」を病院の前に設置、「軽症者救護所」を5か所の小学校前に設置する。普段皆さんが通院しているクリニックの先生方は救護所に行っている可能性があり。

ウ 要配慮者対策

区で作成している計画上では、要配慮者を高齢者、障がい者、乳幼児、外国人等としている。要配慮者は個別避難計画、要支援者名簿を作成することが法律で定められている。どこに避難するか、どうやって避難するか、が大事。大田区では学校避難所に要配慮者スペースを作成する予定。また、学校避難所で要配慮者が過ごせるスペースは大事だと認識している。前回の訓練（糀谷地区総合防災訓練）で不十分な部分がたくさん見えてきた。福祉避難所は協定等で資料に掲載している箇所に開設予定だが、実際は被害状況で開けない場合もある。

(以下委員からの質問)

- ・要配慮者の中にこども（乳幼児）が含まれているが、言葉として女性が含まれていない。女性で性被害を受けている方がいる。年齢問わず被害にあっている。福祉避難所にこども女性というエリアを考えているのか？大田区の中でどの程度議論が進んでいるのか？
→こども女性とは所管が違うので詳しく話せないが、避難所で被害があるのは事実。西日本豪雨の避難所へ視察に行ったことがあるが、こどもと女性のエリアはあったが、部外者でも簡単に入れるエリアにあった。あるだけではダメ、どこにあるかが大切だと記録を残した。避難所にこどもと女性のエリアを加えてくださいと言っている。加えている学校もあれば、そうでない学校もある。
- ・他委員からも同様の質問あり。災害弱者の視点は大事だと思う。学校避難所に要配慮者スペースが現実的になっていることは一歩進んでいる。
- ・屋外にトイレのテントがあっても、外から見ると人が入っているかどうか分からず悪戯される。だから学校内のトイレを使いたいが、使い方が分からず汚してしまう人がいる。汚れているトイレは皆使いたくないので、使い方の講習をやったほうがいいのではないか。
→学校には被せて使うトイレの備蓄がたくさん準備されているが、周知が足りない。
- ・資料内に要支援者が避難所へ行くときは介助者の付き添いが必要と記載あるが、介助者がいない場合はどうしたらいいのか？避難所に入れないのか？
→原則介助者と一緒来ていただきたいが、いなくても拒否はしない。介助者がいない場合はどのように避難所まで来てもらうのか？地域の方とどのように連携していくのが課題。来た方に対して拒否はしない。
- ・福祉避難所への避難時には、本人1人に対して介助者1名だが、1人の障がい者を1人で見切れない場合はどうしたらいいのか？兄弟がいる場合は別々に避難するのか？
→福祉避難所まで来られたとしても、介助者1人では難しい場合があるという現状が分かってきた。今年度から福祉避難所のボランティアを募ることにした。
- ・自分が仕事中に災害があった場合、こどもには学校へ行きなさいと言っていたが、今は家にいなさいと言っている。そもそも学校避難所は家を失った人が行くところだと知らない人が多い。品川区は一人ひとつ防災トイレを配布した。そこに学校避難所について記載されていた。自助が大切だと何らかの形で発信することが大事かと思う。
→大田区もハザードマップを配布しているが、見ない人が多い。防災トイレが配布されたら驚いて見ると思う。課内で情報共有する。
- ・品川特別支援学校の防災倉庫を見た時、品川区からの福祉避難所の物品が入っていた。品川区ができるのに大田区が出来ないのはなぜか？防災トイレや水などを配置していたけるといい。

→区としても備蓄品を置かせていただきたいが、教室や倉庫等の場所を貸してもらうことはハードルが高い。矢口特別支援学校は調整しているのではないかな？防災危機管理課へ伝える。区内の特別支援学校3校については一緒に話す機会があるので、物品の話や福祉避難所開設の話をしている。

- ・資料内に記載されている福祉避難所対象者は、いつの時点で指定されるのか？また、個別避難計画の作成主体が区になっているが、私の計画は立てられているのか？立てたい場合はどのようにしたらいいのか？

→風水害時の対象者は、浸水する可能性の場所に住んでいる方で、区で個別避難計画を立てながら福祉避難所に案内している。区が福祉避難所を指定しても行けない場合もあるので、事前に調整している。また、個別避難計画は区で作っていると思う。

- ・「在宅避難」というワードがよく出てくるようになった。個別避難計画について、スペシャルデーのアンケート結果では作っていない方多かった。防災・あんしん部会としては個別避難計画を作りましようとして進めていきたい。自分で作る方が多いので、作る際にどこに相談したらいいかも併せて紹介できるといい。

(2) 令和7年度大田区総合防災訓練(糺谷地区)要配慮者スペース訓練について【資料4-2】

この訓練は大田区で毎年行っており、要配慮者に限った訓練ではない。今年度は要配慮者(高齢者・障がい者)の受け入れをテーマに行った。

検証結果を資料の通りまとめた。ヒアリングの時間短縮としてヘルプカードの利用や、質問票の作成という意見が出た。また、要配慮者のスペースをどこに設定するのか、スペース内のレイアウトも検討が必要と分かった。

5 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

(事務局から)

来年度の専門部会スケジュール(案)について

今年度の専門部会は今日で最後になり、次回は本会になる。来年度については年度の途中に交流会を予定しているため流動的となっている。このような形で専門部会を行っていく予定だがいいかな？→異議なし

委員の方には次回の本会の依頼文を別途送付する。のみ委員は傍聴可能だが先着順になるため、希望の方は事務局まで連絡ほしい。

(志村部会長より)

1月13日に運営会議があり、3つの専門部会から報告があった。本会の流れとしては、前半は各部会の発表、後半は名川先生の講義の予定。後半の講義の時は各部会バラバラに座る。

(生駒委員より)

毎月行っているTSネットの勉強会、定例会について共有あり。

(2) ご意見カード記入

第2回本会：令和8年3月27日(金)14時00分～16時15分

会場：さばーとぴあA棟5階多目的室